

寄附金税額控除に係る申告特例（ふるさと納税ワンストップ特例）とは..

地方団体に行った寄附（ふるさと納税）について一定の条件を満たす場合、寄附者の申請に基づいて、寄附先の地方団体が住民税の賦課期日（翌年の1月1日）現在お住まいの市区町村へ寄附情報の通知を行うことで、所得税の確定申告をすることなく、翌年度の住民税から所定の税額控除を受けられる制度です。

【対象となる方】

- ・ 確定申告をする必要のない給与所得者等である方
- ・ 1年間の寄附先が5団体以下である方

条件を満たさない場合は、確定申告において、ふるさと納税に係る寄附金の申告が必要です。

平成28年（2016年）以降、申請書に個人番号（マイナンバー）を記載していただくことになりました。番号確認および本人確認のため、申請書の提出時に、確認書類の提示あるいは写しの提出が必要です。

個人番号カード（マイナンバーの入った公的身分証明書）をお持ちですか？

はい → 下記①へ いいえ → 下記②へ

①個人番号カードを持っている場合

個人番号確認用
個人番号カードの裏面

+

本人確認用
個人番号カードの表面

②個人番号カードを持っていない場合

個人番号確認用（いずれか一つ）

- ・ 通知カード（マイナンバーを通知するカード）
- ・ 個人番号が記載された住民票の写し

+

本人確認用（下記確認書類A又はB）

身元確認書類A

顔写真・氏名・生年月日又は住所が記載されている官公署の発行した証（又はそれに類するもの）いずれか一つ
運転免許証、旅券（パスポート）、身体障害者手帳 など

身元確認書類B

身元確認書類Aの提出が困難な場合、下記書類のうちいずれか二つ（氏名と生年月日又は住所が記載されていること）
健康保険証、年金手帳、児童扶養手当証書 など

裏面の記入例も
ご確認ください

